

教員育成指標の例

・宮城県	1
・栃木県	3
・大阪府	6
・島根県	8
・熊本県	10
・仙台市	11
・横浜市	15
・愛知県	17

出典：文部科学省 HP 教員養成部会（第 95 回）配付資料 3-3（平成 29 年 1 月 17 日）

第 2 回愛知県教員の資質向上に関する指標策定等会議（平成 29 年 7 月 5 日）

宮城県

表1 教員のライフステージとみやぎの教員に求められる資質能力

経験段階 教職経験	第Ⅰ期 【基礎形成期】 1年目～5年目	第Ⅱ期 【資質成長期】 6年目～10年目	第Ⅲ期 【資質充実期】 11年目～20年目	第Ⅳ期 【資質熟成期】 21年目以降
【ライフステージ区分】 みやぎの教員に 求められる資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として使命感、教育的愛情を深め、広く豊かな教養や人間性を磨く 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生徒指導、学級経営、校務分掌について一定の職務遂行能力を身に付けるとともに、学級担任としての力量を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任、教科主任としての経験をもとに、学習指導はもとより、学級経営・学年経営、生徒指導等の在り方に関して広い視野に立った力量を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として求められる多様な経験を十分に積み、さらに校内におけるリーダー的な役割を果たす教員として全校的視野に立った指導力を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての高い専門性を発揮するとともに、学校運営上重要な役割を担い、他の職員への助言・援助など指導的役割や、学校や地域全体の教育力向上に貢献できる力量を向上させる
	<p>初任者層</p>	<p>若手教職員</p>	<p>中堅教職員</p> <p>主任・主幹層</p>	<p>ベテラン教職員</p> <p>管理職層</p>
① 授業力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等に関する専門的な知識 ・学習指導、授業づくりの力、教材解釈の力、教材化する力 ・学習指導要領のねらいを明確にした授業実践 ・教科指導・生徒指導等のための知識・技能及び態度 ・学びのコーディネーターとしての役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・得意分野の伸長 ・不得意分野の克服 ・高い専門性 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のための指導助言力 	
② 生徒指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の基本的な生活習慣の指導 ・児童生徒の社会性を育むための指導 ・適切な学級経営(学級づくりの力) ・個人の理解と集団の理解 ・道徳教育と生徒指導、特別活動と生徒指導 ・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の技法 ・カウンセリング ・一人一人を生かす指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導のための校内体制づくり、組織的な取組体制 ・教員の生徒指導力向上への支援 ・地域との連携 	
③ 子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の成長・発達についての深い理解、内面的な理解 ・教育的ニーズの的確な把握 ・実態に応じた適切な指導 ・共感的コミュニケーション ・子どもからの信頼 ・教育的愛情、共感的・受容的態度で接する ・児童生徒が安心して過ごすことができる生活環境 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒、教職員に対する関心と愛情 ・人間的な魅力・親愛感
④ 学校を支える力	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営 ・実践的指導力 ・学校環境、教室環境等の整備 ・校務の処理 ・教職員全体との同僚としての協力 ・学校づくりへの参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営への参画 ・企画調整力 ・リーダーシップ ・組織や学校経営への貢献 ・教職員の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営力 ・リーダーシップ ・組織マネジメント能力 ・ビジョンの構築力 ・職場環境の改善 ・教職員の能力伸長 ・地域との信頼関係の構築 	
⑤ 教育への情熱	<ul style="list-style-type: none"> ・教育者としての高い使命感と情熱 ・子どもに対する愛情や責任感 ・職務遂行の意欲 ・教職に対する愛着、誇り、一体感 			<ul style="list-style-type: none"> ・最高責任者としての使命と責任 ・経営する力
⑥ たくましく 豊かな人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く豊かな教養、常識 ・豊かな人間性や社会性 ・保護者、地域社会からの信頼 ・コミュニケーション力 ・地域や家庭と連携する力 ・自己管理能力 ・高い規範意識と責任感 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に関する教育的愛情 	<ul style="list-style-type: none"> ・渉外力、折衝力、交渉力 ・リーガルマインド ・判断力、決断力 ・外部との協働ネットワーク力 ・コンプライアンスとリーダーシップ、説明責任 	
⑦ 自己研鑽力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力 ・チャレンジ精神 ・各人の得意分野づくり ・個性の伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力と研修意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力と研修意欲 ・OJT支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育や人材育成に対する明確な理念と高い識見 ・広く豊かな教養と経営能力 ・教員のキャリア形成支援

表2 教員研修体系表

経験段階 研修種別		第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	第Ⅳ期
		【基礎形成期】	【資質成長期】	【資質充実期】	【深化発展期】
		1年目～5年目	6年目～10年目	11年目～20年目	21年目以上
◆ 基本研修	指定研修	初任者研修	5年経験者研修	10年経験者研修	20年経験者研修
	職能研修	教育課程に関する研修（教育課程研修会等）等			
◇ 専門研修	職能研修	主任・主幹教諭等研修		行政職研修	管理職研修
	専門研修	教科・科目・領域等の専門的事項に関する研修			
◇ 総合研修	派遣研修	大学院，企業等 長期研修 教職員等中央研修			
	課題研修	先行的研究，今日の教育課題に関する研修			
	教職教養研修	教育講演会，シンポジウム等			
校内研修	授業研究，講習会，指導主事訪問（校内研修サポートプログラム）				
長期特別研修	指導力向上長期特別研修				
自主研修	大学公開講座，カリキュラム支援室，CIT授業の技				

※ 研修種別欄について、◆：原則悉皆研修，◇：原則希望研修（推薦含む）

栃木県

ステージごとの研修目標(身に付けたい資質・能力)[教諭]

※ゴシック体は、行動標準表の文言から抽出

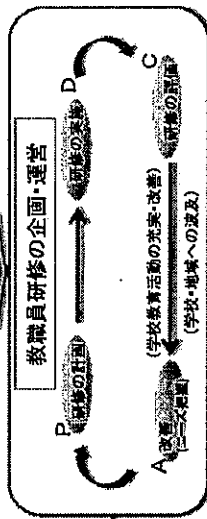
評価区分	評価の着眼点	ステージⅠ(初任者～)	ステージⅡ(5年目～)	ステージⅢ(10年目～)	ステージⅣ(20年目～)	
学習指導	指導計画の立案・実施	指導計画にしたがい適切に実施している。	学習指導要領に基づき、学習の順次性を考慮して指導計画を立案し、適切に実施している。	学習指導要領や学校の指導方針に基づき指導計画を立案し、適切に実施している。	学習指導要領や学校の指導方針に基づき指導計画を立案し、適切に実施するとともに、学校の学習指導上の諸課題を把握し、指導計画の改善を行っている。	
	学習指導案の作成	学習指導案の一般的な形式を理解し、授業の流れをイメージできるように、学習指導案を作成している。	身に付けさせたい力やねらいがわかり、評価規準や評価計画を明らかにした学習指導案を作成している。	目標、授業、評価を関連付け、評価規準や評価計画、評価方法を明らかにした学習指導案を作成している。	目標、授業、評価を関連付け、評価規準や評価計画、評価方法を明らかにした学習指導案を作成している。	
	教材研究・指導方法の工夫	ねらいの明確化、教材研究	授業のねらいを明確にし、教材・教具を工夫するなど教材研究をして授業を行っている。	授業のねらいを明確にしたり、児童生徒の実態を踏まえたりするなど、適切な教材研究をして授業を行っている。	授業のねらいを明確にし、児童生徒の学習状況に即して教材の工夫を行っている。	授業のねらいを明確にし、児童生徒の学習状況に即して教材の工夫を行っている。
	児童生徒の学習状況の把握	児童生徒の理解度や反応を見ながら授業を行っている。	児童生徒の言動に対して適切に対応するなど、児童生徒の理解度や反応を見ながら授業を行っている。	児童生徒の反応や言動の真意を読み取り、指導過程を修正するなどの適切な対応をしている。	児童生徒の反応や言動の真意を読み取り、指導過程を修正するなどの適切な対応をしている。	
	話し方	声の大きさ、話す速さなど、話し方の基本技術を身に付けている。	内容や目的に応じて、緩急、強弱を考慮するなど、話し方の基本技術を身に付けている。	話し方、表情、所作などを工夫し、場面によって適切に使い分けられている。	話し方、表情、所作などを工夫し、場面によって適切に使い分けられている。	
	板書	板書計画を立て、筆順や見やすさを考慮し、丁寧に板書するなど、板書の仕方の基本技術を身に付けている。	書くべき内容を精選し、学習の流れがよく分かる板書計画を立てた上で、適切なタイミングで板書するなど、板書の仕方の基本技術を身に付けている。	児童生徒の様子を観察し、児童生徒の理解や思考の展開を把握しながら、わかりやすい板書をしている。	児童生徒の様子を観察し、児童生徒の理解や思考の展開を把握しながら、わかりやすい板書をしている。	
	発問	児童生徒の多様な意見を引き出す発問をしている。	児童生徒の思考を促す確かな発問をしている。	ねらいや学習方法に応じた主発問および機に即した補助発問をしている。また、発問に対する児童生徒の反応を授業の展開に生かしている。	ねらいや学習方法に応じた主発問および機に即した補助発問をしている。また、発問に対する児童生徒の反応を授業の展開に生かしている。	
	わかる授業の展開	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を心がけている。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	
	学習指導に対する理解と取組	学習指導要領や、学習指導と評価に関する基本的知識を身に付けている。	学習指導要領や、学習指導と評価に関する基本的知識を身に付け、指導に生かしている。	学習指導についての専門的知識を身に付け指導に生かしている。	学習指導についての専門的知識を身に付け指導に生かすとともに、学校の学習指導上の諸課題について、積極的に課題解決にあたり、関係に適切な支援、助言をするなどして校内の学習指導の向上に寄与したりしている。	
	評価の工夫	評価規準に基づいた、適切な評価を実施している。	評価計画を立てて、適切な評価を実施している。	児童生徒の学習状況に応じて評価を工夫し、学力の向上に生かしている。	児童生徒の学習状況に応じて評価を工夫し、学力の向上に生かしている。	
児童・生徒指導	児童生徒との信頼関係の構築	日常的なやりとりから、児童生徒の性格、希望、悩み等を理解しようとしている。	児童生徒一人一人の情報を収集、分析するなど、児童生徒の性格、希望、悩み等を理解するための取組を行っている。	様々な情報に基づいて児童生徒一人一人の状況を的確にとらえ、適切な指導方針を立てている。	様々な情報に基づいて児童生徒一人一人の状況や変化を的確にとらえ、適切な指導方針を立てている。	
	信頼関係づくり・教育相談	カウンセリング・マインドをもって、一人一人の生徒理解を深めるかわりを作るなど、共感的・受容的に児童生徒に接している。	児童生徒が安心して相談できるよう工夫し、児童生徒の思いを理解しながら適切な助言をするなど、共感的・受容的に児童生徒に接している。	児童生徒からの悩みの相談に対し、児童生徒の状況を的確に把握した上で、問題解決への道筋を適切に助言・指導するなど適切に対処している。	様々な教育相談の手法を身に付け、場面・状況に応じた相談方法を活用するなど、児童生徒からの悩みの相談に対し、適切に対処している。	
	児童・生徒への支援・指導	児童・生徒指導の目的や学校の方針について理解し、児童・生徒指導に取り組んでいる。	児童・生徒指導の目的や学校の方針について理解し、児童・生徒指導に適切に取り組んでいる。	学校の課題・方針等をもとに、児童・生徒指導に積極的に取り組んでいる。	学校の課題・方針等をもとに、児童・生徒指導に積極的に取り組んでいる。	
	基本的生活習慣の指導	基本的生活習慣の育成を行っている。	基本的生活習慣の育成を適切に行っている。	基本的生活習慣やルール、マナーなどについて、積極的に指導している。	基本的生活習慣やルール、マナーなどについて、積極的に指導している。	
	問題行動への対応	日頃から児童生徒の様子を観察し、指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。	日頃から児童生徒の状況や内面を理解し、指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。	指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。また、問題行動の背景と直接的な原因を的確に把握し、適切な指導を行っている。	問題行動の背景と直接的な原因を的確に把握し、適切な指導を行っている。また、問題行動への対応に関して、関係に適切な支援、助言をしている。	
	特別活動・進路指導等の取組	特別活動や進路指導等の意義を理解し、指導に取り組んでいる。	特別活動や部活動、進路指導等の意義を理解し、適切に指導している。	特別活動や部活動、進路指導等の指導を積極的に行っている。	特別活動や部活動、進路指導等の指導を積極的に行うとともに、関係に適切な支援、助言をしている。	
	組織的対応	組織的対応の意義を理解し、児童・生徒指導にあたっている。	教職員間で児童生徒の情報を共有し、協力して児童・生徒指導にあたっている。	児童・生徒指導について、組織を活用し課題解決にあたっている。	児童・生徒指導について、組織を活用し課題解決にあたっている。	
家庭・地域・関係機関との連携	家庭との連携の重要性を認識し、連携を図っている。	家庭への情報提供に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築いている。	家庭・地域・関係機関等と連携し、問題行動の予防や解決にあたっている。	家庭・地域・関係機関等と連携し、問題行動の予防や解決にあたっている。		

ステージごとの研修目標(身に付けたい資質・能力)【教諭】

※ゴシック体は、行動規準表の文言から抽出

評価区分	評価の着眼点		ステージⅠ(初任者～)	ステージⅡ(5年目～)	ステージⅢ(10年目～)	ステージⅣ(20年目～)
参画・経営	校務分掌への取組	校務分掌への取組	担当する校務分掌について、責任を自覚し、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、他の分掌や全体とのかかわりの中で自己の役割を理解し、迅速・正確な処理をしている。	校務分掌について、工夫や改善をして、積極的に取り組んでいる。	校務分掌について、工夫や改善をして積極的に取り組むとともに、同僚に適切な支援、助言を行っている。
		報告・連絡・相談	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告、連絡、相談を適切に行うとともに、校内の連携が円滑に行われるよう働きかけている。
	学級・学年経営・参画	学級経営	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学級活動の意義を理解し、学級(学年)集団の規律を維持し、組織的に活動させている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や生徒の実態を踏まえ、学級(学年)集団の規律を維持し、組織的に活動させている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や学校の指導の方針を踏まえ、他の教職員と連携を図りながら、積極的に学級経営を行っている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や学校の指導の方針を踏まえ、積極的に学級経営を行うとともに、同僚に適切な支援、助言をしている。
		学年経営	学年主任や他の正副担任と協力しながら、学年経営に参加している。	他の学級や学年と協力しながら学年経営に参加し、課題を解決しようとしている。	学校の指導の方針を踏まえ、学年を統括または経営に参画している。	学校の指導の方針を踏まえ、学年を統括している。
	学校経営への参画	学校経営への参画	各種委員会など校内組織での自らの役割を果たしている。	各種委員会など校内組織での自らの役割を自覚し、果たしている。	学校経営上の課題をもとに、その解決のために積極的に参画している。	学校経営上の課題をもとに、その解決のために積極的に参画している。
		家庭・地域・関係機関との連携	学級経営や教科についての理解を促すために、家庭に情報を提供している。	学級経営や教科についての理解を促すために、家庭に情報を提供したり、地域と連携・協力したりしている。	家庭・地域・関係機関等と連携・協力しながら、校務を処理している。	家庭・地域・関係機関等と連携・協力しながら、校務を処理している。
意欲・態度	教育的愛情・熱意	教育的愛情	児童生徒に教育的愛情を持って接している。			
		信念・熱意	正しい信念のもと、熱意をもって仕事に取り組んでいる。			
	職業・品位・公正・法令の遵守等	人権尊重の精神	人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。			
		職業・品位	礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。			
		公正	偏りがない見方・考え方で公正に勤務している。			
	責任感・責任性・協調性等	法令の遵守	職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。			
		責任感	責任を持って職務の処理にあっている。			
		責任性	異なる意見・立場を尊重し、職務にあっている。			
	研修に対する意欲	協調性	同僚と協調して職務にあっている。			
		研修	自己の能力向上のために、研究と修業に取り組んでいる。			

法令 各申 とちぎ教育振興ビジョン(三期計画)

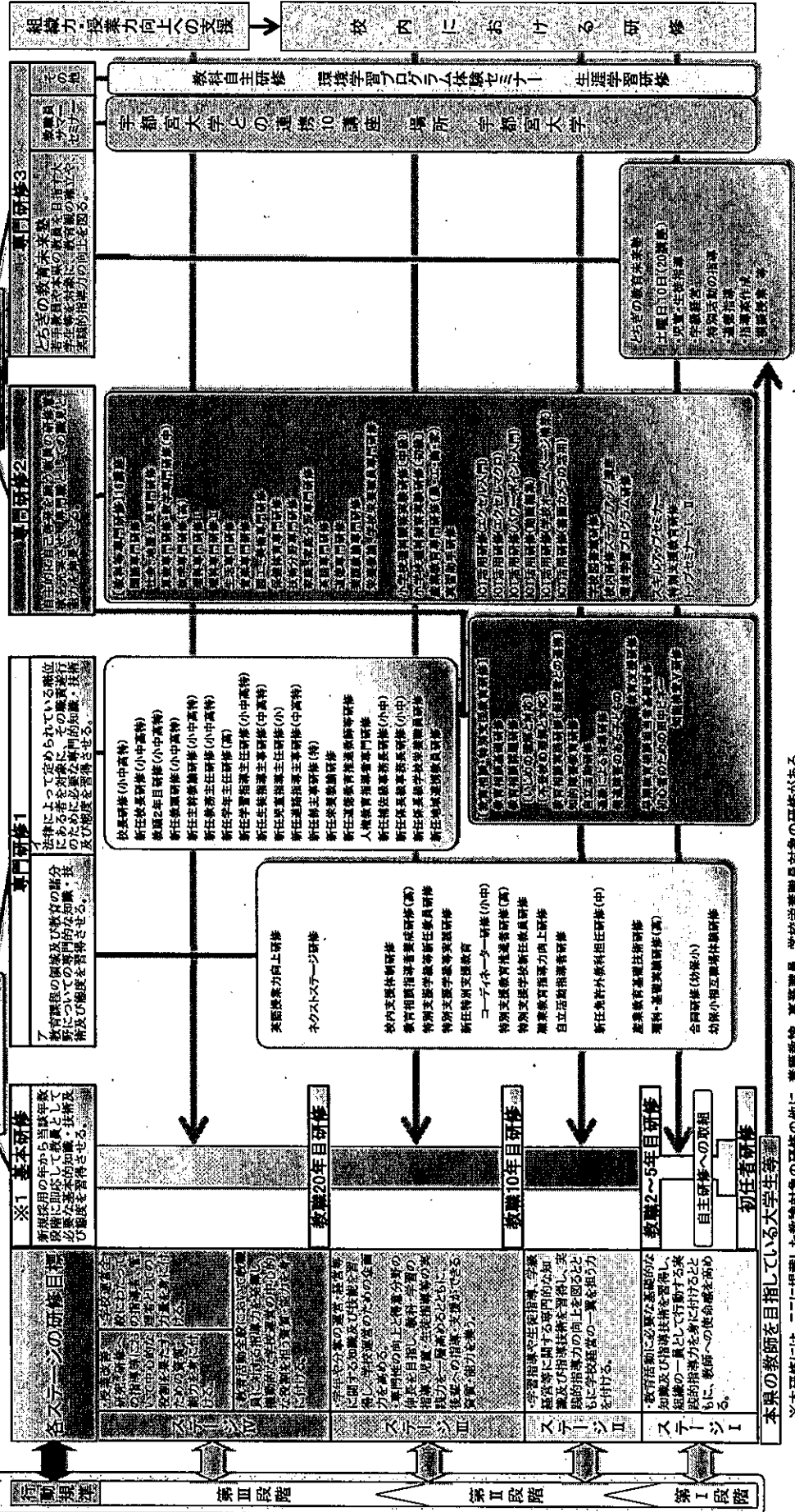


総合教育センターのミッション
とちぎの教育の未来をひらくために
～「育てます」「支えます」「広がります」～



とちぎの求める教員像
・人間性豊かで信頼される教師
・幅広い視野と豊かな指導力をもった教師
・教育的責任と使命感をもった教師

- 総務課
- 教職員課
- 学校教育部
- 学務課
- 健康福利課
- 特別支援教育室
- 等
- 各教育事務所
- 各市区教育委員会
- 宇都宮大学等外部機関



各ステージの研修目標
・教育活動の質向上
・指導力の向上
・専門性の向上
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

第Ⅲ段階
・教育活動の質向上
・指導力の向上
・専門性の向上
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

第Ⅱ段階
・学習指導や生徒指導、授業
経営等に関する専門的知識
の習得
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

第Ⅰ段階
・教育活動に必要な基礎的な
知識及び指導技術を習得し、
組織の一員として行動する実
践的指導力を身に付けること
にも、教師への使命感を育
む。

初任者研修

教職2～5年目研修
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

教職10年目研修
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

教職20年目研修
・自己研鑽力の向上
・協働力の向上
・資質・能力の向上

※1 基本研修
新規採用の年から当該年数
段階に即成して教員として
必要な基本的知識・技能
及び態度を習得させる。

※2 進歩研修
7 教育課程の理解及び教育の諸問
題についての専門的な知識・技
術及び態度を習得させる。

※3 専門研修1
法律によって定められている職位
にある者に対して、その職責・責
任及び態度を習得させる。

※4 専門研修2
各自が自己学習や研修等の計画
に基づき、自己研鑽力及び協働
力を高める。

※5 専門研修3
とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

※6 校務研修
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)

※7 教員研修
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)

※8 校務研修
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)
新任校長研修(小中高特)

組織力・授業力向上への支援
校内における研修
教科自主研修
環境学習プログラム体験セミナー
生涯学習研修

宇都宮大学との連携の講座 場所 宇都宮大学

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

とちぎの教育未実施
分野の教育未実施
分野の教育未実施

教職員評価制度

行動規範

第Ⅲ段階

第Ⅱ段階

第Ⅰ段階

初任者研修

教職2～5年目研修

教職10年目研修

教職20年目研修

本県の教師を目標としている大学生等
※本研修には、ここに掲載した教職対象の研修の他に、美濃教師、事務職員、学校栄養職員対象の研修がある。
ただし、事務職員には2～5年目研修・20年目研修、学校栄養職員には20年目研修はない。

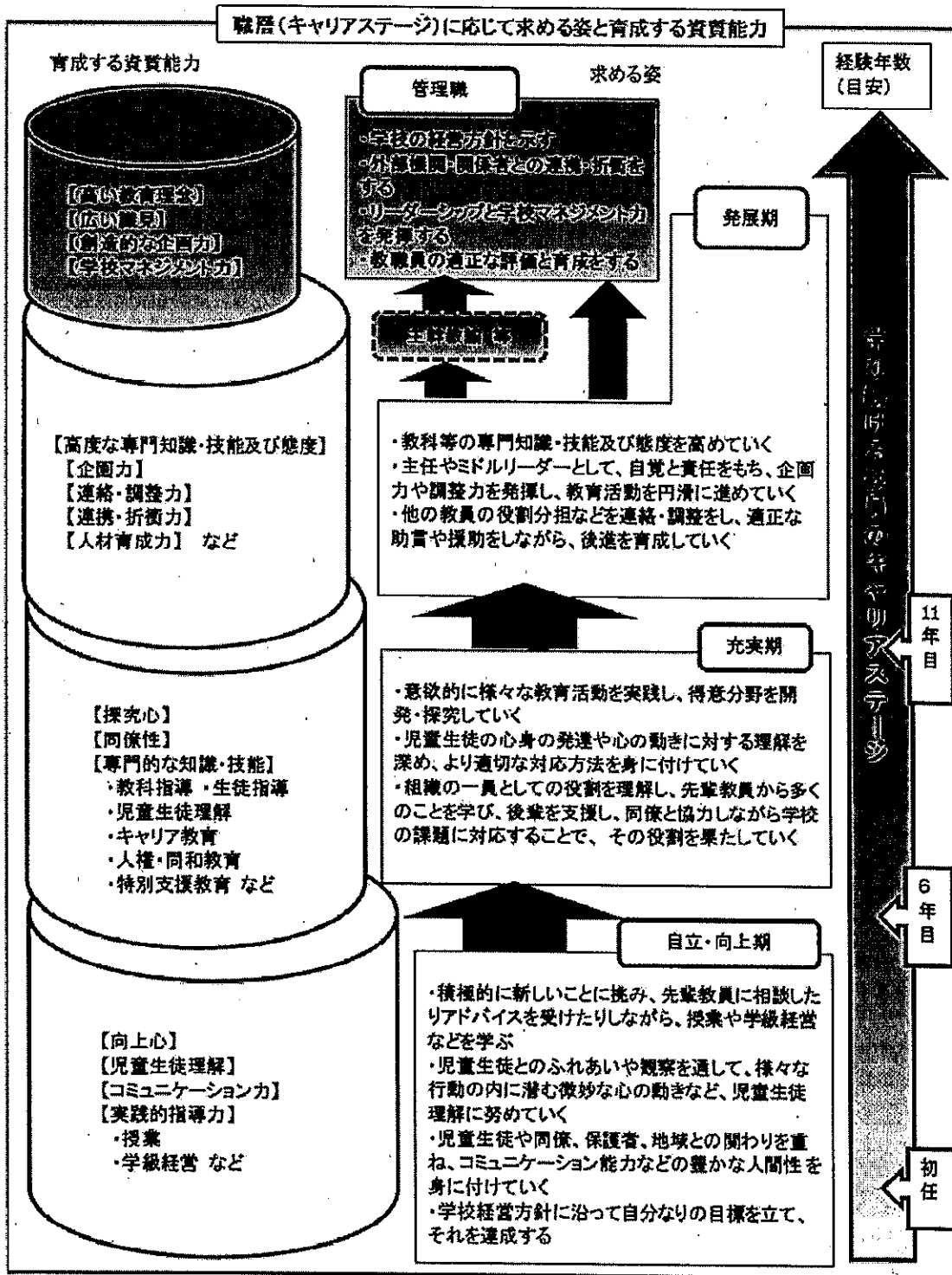
- OSAKA 教職スタンダード -

「OSAKA教職スタンダード」は

- ・教員として共通に必要なとされる教職能力をキャリアステージごとに整理して「OSAKA教職スタンダード」を作成しました。
- ・キャリアステージは、第0期から第4期までの5段階に分けています。教員に求められる「第0期」は、初任期にあたる「第1期」から始まり、ミッドリーダーとして発展・深化する「第2期」「第3期」を経て、キャリアの成熟期にあたる「第4期」までの4段階に分け、あわせて6段階のキャリアステージに対応づけられています。
- ・また、教員として共通に必要なとされる教職能力については、下記のとおりに5領域16項目に分類しました。

教職能力		第0期		第1期		第2期		第3期		第4期	
1	人権意識、人権感覚を身に付ける	人権意識に基づいた子どもの理解ができる、指導することができる	学校の人事教育推進のために行動できる	学校の人事教育推進を企画・実施し、教職員を指導できる	学校の人権教育及び生徒指導を企画・実施し、教職員を指導できる	学校の人権教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる	学校の人事教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる	学校の人権教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる	学校の人権教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる	学校の人権教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる	学校の人権教育を推進し、副校長に合わせた指導に力発揮できる
2	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	一人一人の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ
3	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ	社会人としての一歩を踏み出すことのできる実践を学ぶ
4	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ	自分の個性を伸ばし、自他の人権を尊重することのできる実践を学ぶ
5	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける	安全に関わる事項的な知識を身に付ける
6	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する	進出活動等を推進する

島根県



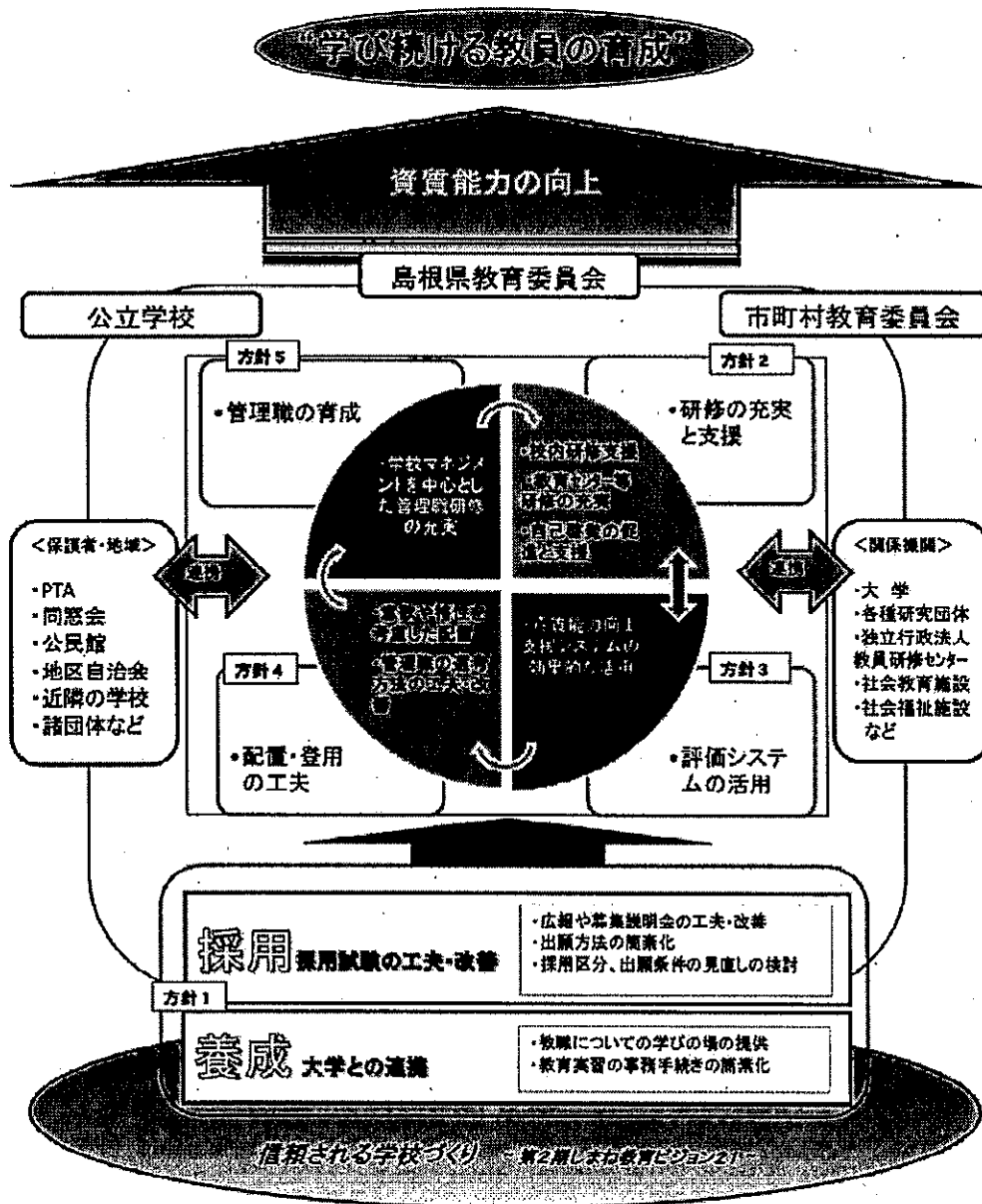
Ⅲ 人材育成基本方針

人材育成のコンセプト（基本概念）を“学び続ける教員の育成”とし、次の5つの基本方針を設けました。

人材育成のコンセプト：“学び続ける教員の育成”

【人材育成基本方針】

- | | | | |
|-----|-----------|-----|----------|
| 方針1 | 優れた人材の確保 | 方針2 | 研修の充実と支援 |
| 方針3 | 評価システムの活用 | 方針4 | 適切な配置・登用 |
| 方針5 | 管理職の育成 | | |




熊本県

別表1 キャリアステージに応じた必要な資質・能力

ステージ	目 標	必要な資質・能力			
		指導力等	マネジメント力	総合的人間力	使命感・倫理観
基礎期 (1～5年)	教育活動をはじめ職務遂行に必要な基礎的な知識や指導技術、技能を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を身に付ける。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務の基礎的理解及び指導技術、技能の習得。	学級経営等の基礎的な知識や集団の指導力。	人権に関する理解と豊かな人権感覚及び良好な対人関係を形成する能力。	教育公務員としての基本的な自覚・規範意識を持ち、若手職員として職務を遂行する謙虚な姿勢。
向上期 (6～10年)	基礎期の経験を活かし、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務遂行に必要な実践的・専門的な知識や技能を習得・活用し、基礎期の教職員へ助言・支援を行うなど学校運営の一翼を担う力を身に付ける。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する実践的・専門的な知識、技能を習得し活用する能力。	学級経営等の専門的な知識や効果的な集団的指導力。	人権に関する豊かな理解と豊かな人権感覚及び状況に応じて的確な発言・行動を行う能力。	教育公務員としての高い自覚・規範意識と若手職員の手本となる職務遂行意識。
充実期 (11～16年)	向上期の経験を活かし、学習指導や児童生徒指導はもとより学年経営や校務分掌等をはじめ職務遂行に必要な高度な知識や技能を習得し、ミドルリーダーとして実践的指導力を発揮するなど、学校運営の一端を担う企画力を高める。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する高度な知識、技能を習得し、ミドルリーダーとして効果的に実践できる能力。	学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	人権に関する豊かな見識とより豊かな人権感覚及びミドルリーダーとしての的確な状況判断能力とその判断に基づく行動力。	教育公務員としての高い自覚・規範意識とミドルリーダーとして後進職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。
発展期 (17～25年)	充実期の経験を活かし、学校運営、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務遂行に必要なより高度な専門的知識や技能を習得し、中核職員として全校的視野に立った実践的指導力を発揮するなど、広範な企画力・運営力・調整力を身につける。 管理職として必要な基礎的知識及び能力を習得する。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関するより高度な知識や技能を習得し、中核職員として全校的視野に立った実践的指導力を学校内外へ発揮する能力。	学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核職員として、全校的視野に立った広範な経営力・企画力。指導者・管理職として必要な基礎的知識や能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚及び中核職員として全校的視野に立った実践的指導力・各種調整能力。	教職員としての使命と職務の重要性の高度な自覚と中核職員としての全校的視野に立った指導力を発揮しようとする意識。
円熟期 (26年～)	発展期の経験を活かし、学校運営、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務全般にわたる、さらに高度な知識や熟練した技能を習得し、学校内外において指導的な教職員や管理職としての力量を高める。 管理職としての豊かな教職経験を踏まえた相談や助言等、他の教職員の力量形成を支援・指導する能力を高める。	指導者・管理職としての豊富な経験と学習指導・生徒指導等のさらに高度な知識や熟練した技能を活かした教職員の力量形成を支援・指導する能力。	学校経営等の推進者としてリーダーシップを発揮し、学校内外の能力、資源を開発、活用し、求められるニーズに適応させる能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚及び指導者・管理職としての他の教職員への助言・援助など学校全体の指導的役割を果たすことのできる諸能力。	教職員としての崇高な使命と職務の重要性の深い自覚と指導者・管理職として学校目標の達成に全力を傾けようとする意識。

仙台市

～求められる教員の姿と力量～ 2015年度版

	初任～5年経歴 (育成期)	6～15年経歴 (向上期)	16年以上経歴 (充実・発展期)
教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りを持ち、謙虚な姿勢でその専門性の向上と社会人としての教養の修養に努める先生	教育者としての豊かな経験に裏打ちされた高い識見と熱き情熱を持ち、その専門性及び人間性の更なる磨きに努める先生	
実践的指導力 【授業づくり】 【学級づくり】	 <p>授業に関する基礎・基本を習得し、熱く子どもと活動できる先生</p>	<p>授業に関する専門性を向上させ、はつらつと子どもの活動に取り組む先生</p>	<p>授業に関する専門性を一層向上させ、模範となる授業を自ら実践したり、校内の先生方の指導助言をしたり、しっかりと子どもに寄り添う先生</p> <p>授業に関する指導者としてのリーダーシップを発揮し、後進の育成に当たる先生</p>
学校運営力 【学校づくり】	校内の先生方の助言を受けながら、組織の一員として誠実に業務を遂行する先生	PDSI サイクルを活用し、自己の組織貢献力の向上に努めつつ、校内の先生方と連携しながら着実に業務を遂行する先生	校内の先生方の気持ちや立場を理解し、組織全体について幅広く見渡す心と知見を持って業務を遂行し、後進の育成に当たる先生

仙台市が目指す OJT

- 多様で多面的な OJT
- 同僚性を育む OJT
- OffJT を生かす

※OffJT：校外研修

【教員としての基盤】

	初任～5年経歴 (育成期)	6～15年経歴 (向上期)	16年以上経歴 (充実・発展期)
1 使命感・情熱	常に児童生徒のより良い成長を目指し、教職への誇りを持って教育活動に当たる。	常に児童生徒のより良い成長を目指して、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たる。	
2 高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行する。	教育公務員として法令を意識し遵守の気運をつくり、誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。	
3 人間的な魅力	広い教養を備え、児童生徒や保護者、職員から信頼される人間的魅力を身に付ける。	豊かな経験に裏打ちされた高い識見を持ち、専門性・人間性を磨き、深い人間的魅力を身に付ける。	
4 社会性・識見	保護者・地域の声に耳を傾け、良好な関係を築き、的確な判断のもと協働的に関わる。	学校への社会の要請を自覚し、高い識見を持って家庭・地域との協働をリードする。	
5 向上心	広く研修に努め、より優れたものを目指し、他人の意見を謙虚に受け止め学び続ける。	常に教師としての在り方を求めながら自己研鑽に努め、教職員の範となる。	

以下17の力量構成要素はOJTの指標として活用できます！

【実践的指導力 授業づくり】

	初任～5年経歴 (育成期)	6～15年経歴 (向上期)	16年以上経歴 (充実・発展期)
1 カリキュラム デザイン ・確かな学力 の育成 ・自分づくり 教育 ・防災教育	<ul style="list-style-type: none"> □仙台版スタンダードカリキュラムを参考に児童生徒の実態に応じたカリキュラムを作成する。 □標準学力検査等の結果から明らかになった児童生徒の実態に基づいた授業改善を行う。 □日常の教育活動を自分づくり教育の視点で捉え、児童生徒に適切な指導を行う。 □防災教育の趣旨を理解し、児童生徒に対して適切な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □自校の特色を生かしたカリキュラムを作成する。 □標準学力検査等の結果に基づいた自校の改善方策を作成・実践する。 □小中学校9年間を見通した自分づくり教育の全体計画を作成・活用し、自分づくり教育を組織的に展開する。 □仙台版防災教育年間指導計画を参考に自校に適した指導計画を作成し展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> □自校や地域の特色に応じてカリキュラムを編成し適切に管理する。 □自校の改善方策を組織的に展開し、年間指導計画の見直しや指導改善のために力を発揮する。 □自分づくり教育の推進に向けて校内の諸課題を整理するとともに、課題解決に向けてリーダーシップを発揮する。 □防災教育の質的向上や継続性を図るため、創意工夫のある指導計画を作成し展開する。
2 授業構想	<ul style="list-style-type: none"> □学習指導要領解説を理解し、学びの系統を踏まえて単元を構想する。 □目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を把握する。 □教材研究の大切さを理解し、積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> □小中学校9年間の学びの系統を踏まえて単元を構想する。 □児童生徒の実態や地域の特色を生かした教材開発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒の実態を的確に把握し、個を生かした授業を構想する。 □単元開発を行い、授業づくりに関する専門性を高める。
3 授業実践・ 評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> □基本的な指導技術を身に付ける。 □指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定・計画する。 □計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時の指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> □学習習慣を確立させ、本時(単元)の目標に迫る授業を行う。 □信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起するよう指導を改善する。併せて、保護者に適切に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> □教職員に授業力向上の視点を持って働きかける。 □指導と評価の改善につながるよう教職員に適切に助言を行う。
4 授業研究	<ul style="list-style-type: none"> □校内で進んで研究授業を行い他の教職員の指導助言を受け、授業を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> □得意分野において校内、市教研などの研究授業を積極的に行い、授業力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □教職員の経験や個性を考慮しながら助言を行い、教材研究やカリキュラム開発に取り組む雰囲気醸成する。
5 情報管理 (ICT活用)	<ul style="list-style-type: none"> □紙媒体を含め個人情報の取り扱いについて正しく理解する。 □教材作成等において電子データを校外に持ち出す場合は公用のUSBを使用し、個人情報を厳正・慎重に取り扱う。 □ICTを活用した授業実践及び情報モラルの指導ができるよう、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □個人情報が漏えいした場合の影響や被害を想定した上で情報を適切に管理する。 □授業の中でICTを効果的に活用し、指導方法の改善を図りながら、児童生徒の学力向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> □仙台市の「情報管理指針」に従って自校における情報セキュリティポリシーを理解し実践に生かす。 □学習指導の効果を高めるICT活用のために、ICT活用と教員の指導力との関連を意識し、専門性の向上を目指して自己研鑽に努める。



	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (熟練・指導期)
1 児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> □自分の受け持つ児童生徒にじっくり向き合い、児童生徒の正しい実態把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □自校の児童生徒の実態を把握し、個性や能力を伸ばす指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □自校の児童生徒を深く理解し、愛情を持って接することができる。 □生徒指導についてリーダーシップを発揮し、後進の指導に当たる。
2 学級づくり 教室経営 組織経営	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒理解に基づく学級経営を行い、より良い学びの環境をつくる。 □清潔で安全な教室環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒理解に基づく学級経営を推進し、児童生徒同士のコミュニケーションを促進し望ましい集団をつくる。 □学年・学級経営方針を反映させ、児童生徒が意欲的に学習に取り組める教室環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> □自らの経験を生かし、成果と課題の把握と改善計画の実践により、学級経営を充実させ、より望ましい集団をつくる。
3 生徒指導・ 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> □直面する課題と問題に気づき、先輩教員等に相談しながら課題を解決するとともに児童生徒、保護者への丁寧な対応を心掛ける。 □児童生徒の発するサインを見逃すことなく予防的な対応を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □直面する生徒指導上の課題や問題について、自校の教員と報告・連絡・相談を行いながら客観的な事実の把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □全体計画を作成したり、自校の生徒指導上の課題解決に向け、具体的方策を提案したりする。 □児童生徒の悩みやストレスに対応できる校内相談体制に積極的に参画する。
4 危機管理・ 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> □いじめ防止、心のケア、食物アレルギー対応など児童生徒に係る安全配慮義務について理解する。 □事故発生に伴う適切な対応の在り方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> □緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、事故が起こったときに迅速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> □緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、事故への迅速かつ組織的な対応を行う。
5 配慮を要する 児童生徒の 理解と支援	<ul style="list-style-type: none"> □学校生活を送る上で配慮を要する児童生徒の実態を把握し、安心して過ごせる学級づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □特別支援教育コーディネーター及び関係機関と連携し積極的かつ計画的に支援を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> □配慮を要する児童生徒に応じた適切な指導・支援ができるよう、校内体制の充実に向けてリーダーシップを取る。

	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (経験期)
1 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 対人関係をより円滑にするコミュニケーション能力の基礎を身に付ける。 児童生徒・保護者・地域との信頼関係を築くために、積極的に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の考えや意見、立場を尊重して受容するとともに、自分の立場(学年や校務分掌等)や組織を意識した建設的な考えや意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験を生かしたり、課題解決に必要な情報や技術を自ら求めたりすることで、物事に柔軟に対応できるようにする。
2 職員間の円滑交流・意思の疎通	<ul style="list-style-type: none"> 「報告・連絡・相談」の機能とその方法について理解し、問題解決に向け積極的に職員間交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有の場を積極的に設け、後進の良き相談相手となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職や他学年・他教科及び職種異なる職員とのパイプ役としてつながりを密にした誠実な職員間交流を行う。
3 OJT 推進・自己啓発・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 指導・助言を受けながら、事務処理のプロセスを学ぶ。 心身の状態把握について理解し、生活リズムの安定と健康保持に努める。 教育活動や指導力向上に向けた情報交換を積極的にを行い、2年目以降は初任の良きモデルとなるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年及び上司と連携しながら計画的かつ的確に連絡や折衝等に努める。 心身の健康保持のための方法等について理解を深め後進の相談役となる。 校内 OJT を積極的に進め、切磋琢磨できる雰囲気づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な PDSI サイクルの在り方や自己研鑽の在り方について、理解を深める。 自己の心身の状態把握の及び教職員の健康把握にも努め、職場の健康保持のための実践に努める。 同僚性を育む職場の雰囲気づくりを積極的に行い、学校全体を視野に入れた人材の育成に努める。
4 危機管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 校内における事故防止と安全対策をよく理解するとともに、自身の役割を理解し、迅速に対応できるよう備える。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止と安全対策をよく理解した上で、場面や状況に応じ、学年等でコミュニケーションを行うなど対応に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> 万が一に備えた対応について、訓練シミュレーションを計画・実施するなどリーダーシップを発揮する。
5 コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスの内容を正しく理解し、日頃から児童生徒・保護者から不信や誤解を招くことがないように心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内のコンプライアンス意識が高まるような実践を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内コンプライアンス委員会等を活用し、場面や状況に応じた対応について率先して研修を行う。
6 協働型学校評価・教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 協働型学校評価について理解し、PDSIを意識して取り組む。 校務分掌の業務内容を理解し、組織の一員として職務遂行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のよりよい姿を実現するための改善活動について理解し、保護者や地域と連携して活動する。 校務分掌の遂行に努め、より効率的な職務遂行の手立ての工夫改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に職務の効率化を図り、組織全体を俯瞰した具体的な策を打ち出し、業務改善を推進する。 ※PDSI:計画立案・実施・評価と点検・改善の検討 Plan Do See Improvement
7 地域連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域行事などにも参加し、地域と学校の連携について認識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部を活用して、地域内の人や施設等の情報を的確に把握し、積極的に教育活動に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの経験や実践を生かして、地域との信頼関係と連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

平成27年度「教員のキャリアステージ」における人材育成指標

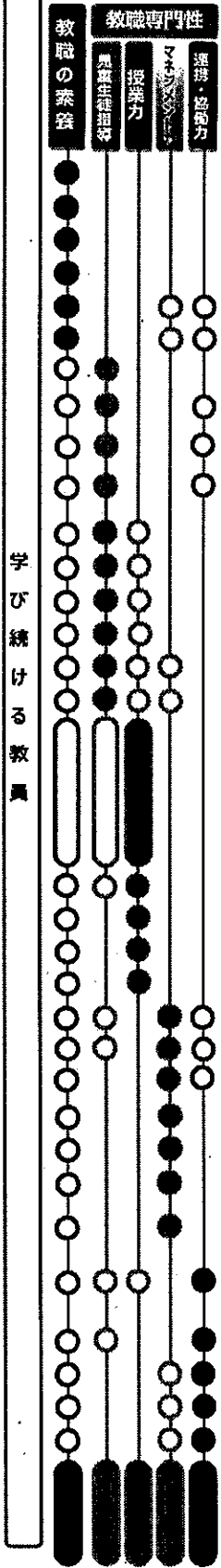
平成22年2月策定
平成27年3月改訂

資質・能力	ステージ	第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			
		横浜市が定める 新任時の資質・能力			実践力を高める 教員の資質を固める (学校の担当教員等)			専門性を高め グループのリーダーとして 推進力を発揮する (学年・分掌等)			豊富な経験を生かし 広い視野で組織的な 運営を行う (学校全体)
学 び 続 け る 教 員 の マ ネ ジ ン グ メ ン ト カ 力	自己研鑽・探究力	・常に自己研鑽に努め、探究心をもって自主的に学び続ける。									
	情熱・教育的愛情	・横浜を愛し、教職への誇りと強い情熱、児童生徒への愛情をもつ。									
	使命感・責任感	・教育公務員として、自己の崇高な使命を深く自覚し、法令及び「横浜市公立学校教職員行動基準」を遵守する。									
	人間性・社会性	・豊かな人間性や広い視野・高い人権感覚をもち、児童生徒や教職員・保護者・地域等との信頼関係を構築する。									
	コミュニケーション	・周囲の状況や相手の思いや考えを汲み取るとともに、自分の考えを適切に伝え、積極的に助け合い支え合う。									
	児童生徒理解	・児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人ひとりに積極的に向き合おうとしている。	・一人ひとりの背景を意識して、児童生徒に向き合う。	・児童生徒を取り巻く環境を的確に捉え、一人ひとりの理解を図る。	・教職員相互で共通理解を図ることができるように、組織の環境を整える。						
	児童生徒指導	・個や集団を指導するための手立てを理解し、実践しようとしている。	・保護者等の関係者や校内組織と連携しながら、個や場面に応じた指導を行う。	・関係機関等と連携して、学年全体の児童生徒指導を行う。	・様々な関係機関等と連携して環境を整え、適切な指導を推進する。						
	実態把握と目標の明確化 (PLAN)	・学習指導要領を理解し、児童生徒の実態把握の必要性を認識し、目標を明確にして立案しようとしている。	・学習指導要領等理解し、児童生徒の実態を把握したうえで目標を明確にする。	・学校の特色を考慮し、実現した姿を想定して目標を明確にする。	・地域の特色も考慮した実態把握を行い、各教科の目標設定に生かすための発信を行う。						
	指導と評価の計画立案 (PLAN)	・評価全般の意義及び評価規模、指導・評価計画の意味を理解し、立案しようとしている。	・評価の目的を理解し、指導と評価の計画を立てる。	・目標を実現するために、効果的な評価の機会を設定し、指導と評価の計画を立てる。	・校内の指導と評価の計画を把握し、的確な支援を行う。						
	指導技術、指導形態の工夫 (PLAN)	・反省や発問等の基本的な指導技術を身に付け、実践しようとしている。	・「習得・活用・探究」の学習を重視し、学び合い等の場面を取り入れた授業の展開を計画する。	・身に付けた技術を生かし、思考力・判断力・表現力や意欲をさらに高める工夫をする。	・個や集団に応じた効果的な指導方法を工夫・選択し、発信を行う。						
授業中の指導と評価 (DO)	・「指導と評価の一体化」の意味を理解し、児童生徒の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	・集団の中の一人ひとりの学習状況を把握し、適切に指導・助言を行う。	・学習状況に応じて、適切に補足的・発展的な指導・助言を行う。	・学習状況を適切に評価し、状況に応じた効果的な指導方法で実践するとともに発信を行う。							
省察及び改善 (CHECK, ACTION)	・授業改善の意義や授業を分析し改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	・一人ひとりの学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かす。	・適切な授業評価を行い、継続的な授業改善に取り組むとともに自己の専門性向上に努める。	・自校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、年間指導計画等の改善を行う。							
研究の推進と研究体制構築	・研究会や研修会に積極的に参加する意義を理解し、実践しようとしている。	・校内研究会や他校の授業研究会に積極的に参加し、授業に生かす。	・校内研究会・校外研修会の企画・運営に携わり、授業力やマネジメント力の向上を図る。	・研修会で得た情報や自らの実践を広く情報発信して、自校の教育活動に生かす。							
学級経営・学校経営ビジョンの構築	・学級担任の役割と職務内容及び、学校組織・運営や校務分掌を理解し、自分でできることを実践しようとしている。	・学校教育目標を理解し、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。	・組織運営や教科経営に積極的に関わり、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行う。	・学校運営について創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、教育活動を活性化させる。							
人材育成 (メンターチーム等の活動)	・学び続けることの意義を理解し、アドバイスに耳を傾け、自らを改善しようとしている。	・疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、自らの実践力を磨く。	・互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。	・人材育成の重要性をふまえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境をつくる。							
資源 (人・もの・情報・時間・資金等) の活用	・学校内外の資源の種類やその活用の目的・意義を理解し、実践しようとしている。	・身の回りの資源を積極的に教育活動に生かす。	・教育活動に効果的な資源を見極めて活用する。	・状況や課題にふさわしい活用方法を考え、教育活動全体の充実を図る。							
危機管理	・危機管理の重要性を理解し、危機を察知した場合に、素早い行動をとろうとしている。	・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に行う。	・危機を予測し連携して未然防止を図るとともに、早期発見、早期対応に努める。	・平常時の未然防止、抜本的改善、再発防止を組織的に推進する。							
関係とチームでの対応	・組織の一員としての自分の役割を理解し、関係と協力して対応しようとしている。	・組織の一員として教職員と積極的に関わり、求められている役割を理解して対応する。	・互いの良さを認め合い、それぞれの力を生かして対応する。	・組織の特性をふまえ、広い視野をもって対応力を高める。							
保護者や他の組織等との連携・協働	・保護者連携の重要性を理解し、保護者や地域と積極的に関わろうとしている。	・保護者、地域と積極的に関わり、連携・協働して対応する。	・保護者、地域、関係機関との関わりを深め、連携・協働して対応する。	・保護者、地域、関係機関との連携・協働のネットワークを形成する。							

平成27年度「教員のキャリアステージ」に応じた教員研修体系

平成27年3月

<求められる資質・能力>



養成期
今日の教育的課題を的確に捉え対応できる力を養う。

第1ステージ
実践力を磨き
教職の基盤を固める
<学校・担当教科等>

第2ステージ
専門性を高めグループの
リーダーとして推進力を発揮する
<学年・分掌等>

第3ステージ
豊富な経験を生かし
広い視野で組織的な
運営を行う
<学校全体>

第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
(育) 海外研修派遣		(イ) セクハラ防止担当研修
	(人) 人権教育推進担当研修・担当責務研修Ⅰ・Ⅱ	
(健) 栄養教諭・学校栄養職員研修 人権研修	(特) 特別支援教育コーディネーター養成研修	(育) 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修
(人) 不登校児童生徒理解研修		(育) 児童支援専任教諭 新任研修会 (育) 生徒指導専任教諭 新任研修会 (育) 児童支援・生徒指導 専任教諭協議会夏季研修
(育) 特別支援教育研修・発達障害児理解研修 (ADHD・LD) 高機能自閉症等・心身の		
(育) 知的障害児理解研修・認知不自由児理解研修		
(育) 乳児発達理解研修・乳児発達理解研修・乳児発達理解研修		
(育) 発達障害者支援研修		
(健) 学校保健研修		
(健) 養護教諭研修 保健室カウンセリング研修		
(指) 各教科等研修 国語科等専科研修 社会科等専科研修 理科等専科研修 公民科等専科研修 総合学習等専科研修 音楽科等専科研修 美術科等専科研修 体育科等専科研修 保健科等専科研修 外国語科等専科研修 職業科等専科研修 家庭科等専科研修 道徳科等専科研修 特別活動等専科研修 学校生活等専科研修 その他専科等専科研修 (注) 学力向上シンポジウム		
(国) 英語研修		
(高) 英語科教員研修		
	(健) 養護教諭 授業実践研修	
(高) YGL (EOL) マグロ・ロケータ・研修		
	(育) 学校経営実践支援推進委員会	
(特) 今日的教育課題研修		(育) 新任教務主任研修
(指) 学校安全研修		
(産) 校務システム操作研修 / 教育の情報化研修 等		
		(育) 生涯教育推進研修
(健) 栄養教諭・学校栄養職員研修 (衛生研修・今日的課題・栄養研修)		
(育) 初任者研修 副都庁大学校 特別支援学校 特別支援学校 特別支援学校	(育) 新任教員スキルアップ研修 初任者研修 新任教員研修 新任教員研修	
(こ) 幼保小の接続に関する研修		
	(指) 司書教諭研修	
(育) 横浜型 初任者研修 (ハラスメント研修)	(育) エキスパート 研修 (育) 人材育成 マネジメント研修 (育) リーダーシップ 開発研修 (企業等研修派遣)	(育) 新任主幹教諭 (育) 学校運営セミナー

学校経営者としての専門性
情報・人間性等

**組織・経営
マネジメント力
開発・活用期**
優れたリーダーシップを発揮して市民に信頼される学校経営を行う

(育) 養護推進ブロック協議会
校長研修

(教人) コンフォリアス
研修

(育) シンクハラス
研修

(育) 新任教員研修
(育) 2年目教員研修
(育) 新任副校長研修
(育) 新任主任研修
(育) 新任推進員研修

(ハラスメント研修)

- 凡例**
- (教人) 教職員人事課
 - (厚) 教職員厚生課
 - (健) 健康教育部
 - (指) 指導企画課
 - (高) 高校教育部
 - (こ) こども青少年局
 - 重点とする観点
 - (育) 教職員育成課
 - (産) 指導主事室
 - (人) 人権教育・児童生徒課
 - (国) 国際教育部
 - (特) 特別支援教育相談課

OJT 研究会・小中一貫教育推進ブロック・授業づくり講座

メンターチーム等、学年研、学年会、教科会、校内授業研究会、校内授業参観、教育課題校内研修会、校内での各種講演会 等

学校経営推進会議
校長会・副校長会 等

教員の資質向上に関する指標（事務局案）

愛知県の小中学校、高等学校、特別支援学校に勤務している全ての教員のみなさんが、どのような資質・能力を身に付け、どのような姿を思い描いてキャリアを積んでいけばよいのかを指し示す羅針盤として、この『教員育成指標』を作成しました。

○『教員育成指標』とは

この指標は、教員として身に付けたい資質・能力を縦軸に、着任時の姿から基盤づくり、ミドルリーダー、シニアリーダーというキャリアステージを横軸に、それぞれの求める姿を示した表となっています。

教員である自分を見つめ、現在、どのキャリアステージにいて、どのような力を発揮すればよいのか、次に何を目指していけばよいのかを考え、行動するための指標となるものです。

なお、養護教諭や栄養教諭の指標については、教諭とは違った職能を入れ込んで示してあります。また、校長については、さらに専門性を加え、管理職として学校をリードするという立場に必要な資質・能力を示しました。

○一人一人の個性や適性を生かすために

教員も人間であり、さまざまな個性や適性があります。それぞれの得意分野を生かしつつ、苦手分野にも取り組みながら、学校における教育活動に貢献できる教員となってもらいたいと考えています。

例えば、自分の得意分野について考えるとき、「私は、指標を眺めると、特に『児童生徒理解』や『生徒指導』の第2ステージの姿に近いな」と思えば、右隣の第3ステージの姿を表から読み取り、その姿を思い描いてその実現に努めてほしいと思います。生徒指導主事や進路指導主事という立場でなくても、同僚として支えたり、経験を生かした助言をしたりして、学校全体に目を配り、他の資質・能力も高めながら、周りの教員をリードできる魅力ある教員を目指してほしいと思います。

また、初任者にとっては、「これから教員としてどのように歩んでいこうか」という目標を定める中で、指標に示された具体的な理想とする教員像を、経験を積み重ねながら、目指してほしいと考えています。

この『教員育成指標』を活用することにより、愛知県の教員一人一人が、目標をもって生き生きと仕事に取り組み、これからの社会をたくましく生きる子どもたちを育成するための教育活動が、ますます推進されることを願っています。

愛知県教員育成指標(教諭版)

めざす「あいちの人間像」

【共に生きる】【自分を生かす】【学び続ける】【あいちを創る】【世界にはばたく】

愛知が求める教師像

広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人

児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人

高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人

実行力に富み、粘り強さがある人

明るく、心身ともに健康な人

組織の一員としての自覚や協調性がある人

ステージ	愛知が求める着任時の姿	第1ステージ			第2ステージ		第3ステージ	
		教職の基盤を固める 学級・担当教科等		ミドルリーダーとして 推進力を発揮する 学年・分掌等		シニアリーダーとして 牽引力を発揮する 学校全体		
素養	教育的愛情・使命感・責任感	・児童生徒の伸びようとする姿をとらえ、愛情をもって寄り添い、支え続け、児童生徒の成長に喜びを感じる。 ・児童生徒の未来を真剣に考えるとともに、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。						
	倫理観・人間性・行動力	・高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒の手本となるような立ち振る舞いを心がけ、児童生徒との信頼関係を築こうとする。 ・児童生徒の目標・憧れとなるような魅力的な人間姿を追求する。 ・自ら行動し、粘り強く、職務に取り組もうとする。						
	自己教育力・創造的思考力	・幅広い教養と高い専門性を備えつつ、向上心を忘れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。 ・新たな問題に直面しても、柔軟に対応するとともに、常に創意工夫しながら物事に取り組んでいこうとする。						
	コミュニケーション力	・自分の考えを伝えるとともに、周囲の状況や相手の思いを踏まえ、共通理解を図りながら、協働的に行動する。						
指導力	児童生徒理解	・子どもの発達の特徴や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。	・児童生徒一人一人に愛情をもって接し、児童生徒との関係の中で、心情を汲み取る。 ・学級・学年への帰属意識を児童生徒に育成する姿勢をもつ。 ・家庭環境などの背景も踏まえて児童生徒を理解し、個々に応じた成長を促そうとする。	・児童生徒の情報共有の場を設定することで、児童生徒を取り巻く状況を的確に捉え、児童生徒の理解を深める。 ・学級・学年などの集団をリードする児童生徒を養成する姿勢をもつ。	・さまざまな情報に基づいて児童生徒一人一人の状況や変化を的確に捉え、適切な指導方針を立て、児童生徒を理解しようとしている。 ・児童生徒が互いを尊重し、学級・学年及び学校全体をよりよくしようという意識と広い視野をもてるように促す。			
	学習指導	・学習指導要領を理解し、発問や板書、環境の構成などの基礎的な指導技術を身に付け、指導計画に従い、実践しようとする。	・適切な発問や語りやすい板書、意図的な環境の構成などの基本的な授業力を身に付け、児童生徒の主体的な学びを引き出す指導力を培うとともに、個に応じた指導を行おうとする。 ・児童生徒の興味を把握し、授業のねらいを明確にして教材教具の工夫をするなど、事前の教材研究の大切さを理解して授業をする。 ・他の教員から学ぶなど自分の指導を改善しようとする向上心をもつ。	・児童生徒の主体的な学びを導く指導技術に習熟している。 ・自らの授業改善、指導力向上に努めるとともに、専門性を高め、他の教員の授業に対して適切な助言をする。 ・校内研究会・校外研修会の企画・運営に携わり、授業力やマネジメント力の向上を図る。	・高い専門性を基に、周りにおける教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員の模範となる授業を行う。 ・学力向上や授業改善、授業評価などの視点を常にもち、学年や教科の授業改善をリードする。 ・学校全体の学習指導上の課題を把握し、校内の教育課程や授業づくりについて改善の視点で考え、組織的に実践を進める。			
	生徒指導	・生徒指導及びキャリア教育の意義を理解するとともに、個や集団を指導するたのむの手立てを理解し、実践しようとする。	・個性の伸長、社会的責任意識や行動力の向上などキャリア教育の視点をもって児童生徒に対応する。 ・児童生徒一人一人の課題を捉え、同時に、保護者の思いを理解し、保護者や他の教職員と協力しながら対応する。	・学年・学校全体の児童生徒の特性や状況を的確に捉え、関係教職員と連携して、組織的・継続的に児童生徒に対応する。 ・経験の踏まえて問題提起や情報提供をしながら、経験の浅い教職員に適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携して、指導の取組方針を的確に示し、具体的に指導する。	・個性の伸長、社会的責任意識や行動力の向上の視点をもち、組織的な取組を促す。 ・生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、教職員に対して指導・助言をする。 ・他の教職員が抱える生活指導・進路指導上の問題に気付く、適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携を深め、問題解決のための体制づくりをする。			
	多様性への理解と教育支援	・人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。 ・特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けている。	・個の特性や背景を把握し、適切な指導及び必要な支援を行う。 ・必要に応じて個に応じた指導の計画を作成するとともに、合理的配慮を重視した指導・支援を行う。 ・実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深める。	・児童生徒一人一人の状況や特性を踏まえた上で、関係教職員と連携し、組織的な指導や支援が行えるようにリードする。 ・児童生徒の多様性に応じるため、関係諸機関や専門機関などとの連携を推進する。	・校内委員会などで学校全体の視点で取組を見直し、組織的・継続的な指導や支援体制を整える。 ・人権や自己の命、個々の価値観を大切に教育の推進者として、経験の浅い教職員の相談や助言を行う。 ・関係諸機関や専門機関などとの連携を積極的に推進する。			
マネジメント力	学級経営・学年経営・学校運営	・理想とする児童生徒の姿や自分自身の姿をもち、その実現に向けて、実践しようとする。 ・学校教育の意義や教育に関する今日的な課題などの教育に関わる情報を積極的に得ようとしている。	・学校教育目標を理解し、児童生徒の実態に合わせ、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。 ・学級内における良好な人間関係づくりを行う。 ・学年主任や他の教職員と協力しながら学年経営に参画する。 ・校内組織での自らの役割を自覚し、責任をもって担う。	・学年や教科、分掌などの運営の中核となつて、学校教育目標の実現に向けて工夫改善する。 ・分担された校務分掌について、目標や改善の視点を明確にして調整・実行する。 ・児童生徒同士のコミュニケーションを促進するとともに、個の特性を的確に捉え、学年や分掌における課題に応じた適切な対応策を提案する。 ・経験の浅い教職員に積極的にアドバイスをし、学校全体の組織力の強化を図る。	・学年経営や学校運営に参画し、課題の解決を図るとともに、他の教職員に学級・学年経営に適切な支援、助言を行う。 ・学校運営について創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、教育活動を活性化させる。			
	学校安全・危機管理	・学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。	・児童生徒の安心安全を第一に考え、危険を予見するとともに対応する。 ・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に実行する。	・安全に対する危機意識をもち、積極的に情報収集をし、課題を明らかにする。 ・学校の安全管理体制を点検し、課題解決に向けて積極的に提案、改善を行う。	・児童生徒の平常時の安全確保、事故などの未然防止、再発防止を組織的に推進する。 ・学校を取り巻く環境の危機管理について、学校、家庭、地域などと協力体制を確立する。			
	同僚との連携・協働	・社会人として良識ある言動をし、円滑な人間関係をつくらうとする。	・組織の一員として、求められている役割を理解し、同僚と協働的に物事を進めようとする。 ・他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら、自己改善をすすめる。	・チームリーダーとして、教職員一人一人のよさを引き出し、それぞれの力を生かして対応できるようにリードする。 ・互いの課題や悩みに関心し、支え合える環境をつくることと、経験の浅い教職員を積極的に支援する。	・自らの経験を生かし、自校の課題に中心となって取り組み、組織全体の取組を改善する。 ・学校全体における教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。			
	地域社会との連携・折衝	・教職公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。 ・家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わろうとする。	・家庭との情報共有に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築く。 ・地域、関係諸機関と必要な連携をとったり、他の教職員の助言を受けたりしながら、適切に対応する。	・地域、関係諸機関と良好な関係を築くとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。 ・他校、異校種の教職員との連携・協力を推進する。	・家庭、地域、関係諸機関へ向けての情報発信を推進する。 ・家庭、地域、関係諸機関からのニーズの情報収集に努め、協働によって教育活動を推進する。 ・地域に貢献する活動を企画・調整する。			

愛知県教員育成指標(校長版)

トップリーダーとして教育活動を推進する 地域の核となる学校

資質・能力	ステージ	
素養	教育的愛情 使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> 校長としての高い見識と専門性に裏打ちされた教育理念をもつ。 児童生徒の未来を真剣に考え、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。
	倫理観・人間性・行動力	<ul style="list-style-type: none"> 高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒及び教職員の手本となるような立ち振る舞いに心がけ、児童生徒、保護者、地域等との信頼関係を築こうとする。 児童生徒及び教職員の目標・憧れとなるような魅力的な人間性を追求する。 自ら行動し、粘り強く、粘り強く、職務に取り組もうとする。
	自己教育力 創造的思考力	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い教養と高い専門性を備えつつ、向上心を怠れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。 新たな問題に直面しても、柔軟に対応するとともに、慣習や前例に囚われず、目的達成のために新たな考えを構築し、取り組もうとする。
	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 校内での教職員との日常的な情報共有を大切にするとともに、校外での関係諸機関との折衝力を高めることに努める。
マネジメント力	判断力・決断力	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集に努め、状況を把握し、的確な判断や決断を迅速に行う。
	教育課題の把握・ 学校経営ビジョンの明示	<ul style="list-style-type: none"> 国や県、市町村の動向を視野に入れ、時代の流れや地域性を考慮しながら、自校を取り巻く校外の環境の特性を認識するとともに、教育課題を把握する。 教育活動の目標や方針、重点目標を定め、具体的な学校運営の企画・改善につながるようなビジョン（到達目標の明確化、表現プロセスの明示など）を示す。
	企画・構想力	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標や方針、重点目標について、学校評価や自己評価を分析し、課題に対して新しい改善策を企画する。 時代が求める学校の在り方を常に模索しながら、必ずしも慣例にとらわれない新しい発想に努める。 市民感覚・民間経営感覚に学び、その感覚や考え方、手法などを取り入れる。
	教職員理解・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 教職員に対する面談や授業観察とともに、教頭などとの情報交換を常に行い、教職員の現状把握に努める。 分担した教職員の業務を見守り、教職員のメンタルヘルズに留意するとともに、状況を把握し、支援・助言しながら的確に評価する。 教職員の持ち味や新しいアイデアを積極的に引き出し、学校運営に生かす。 主任などを中心に教職員の同僚性を育むとともに、OJTを推進し、経験の浅い教職員の育成に努める。
マネジメント力	組織運営・人材活用	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が協働して教育活動を推進するために、職員会議などで具体的な考えを示す。 教職員の能力・適性を的確に把握し、一人一人の教職員が意欲をもって活動できる機会や職務を与え、組織を運営する。
	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の安全確保という視点から施設管理に努める。また、児童生徒のための教育環境整備という視点から備品等の充実に努める。そのために予算の計画的な執行に努める。 事務職員の日常的な連携に取り組み、状況把握に努める。
	学校安全・ 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の安全確保を最優先とし、教育活動における学校安全についての重要性を全教職員に常に意識させる。 学校安全マニュアルの遵守と事故・事件の事例を基にしたマニュアルの改善を図るとともに、必要に応じてシミュレーションなどに取り組む。 学校の危機管理（事前・事後）について、校内組織と関係諸機関との調整を図り、的確に判断し、指示をする。
	地域社会との 連携・折衝	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や関係諸機関、地域に対して学校の教育方針等について発信する機会を確保し、明確に説明責任を果たす。 地域・家庭からのさまざまな要望を的確に把握するとともに、地域社会との協力体制を構築し、地域資源を教育活動に生かす。

愛知県教員育成指標(養護教諭版)

めざす「あいちの人間像」

【共に生きる】【自分を生かす】【学び続ける】【あいちを創る】【世界にはばたく】

愛知が求める教師像

広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人

児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人

高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人

実行力に重み、粘り強さがある人

明るく、心身ともに健康な人

組織の一員としての自覚や協調性がある

ステージ	愛知が求める着任時の姿	第1ステージ			第2ステージ		第3ステージ	
		教職の基盤を固める 学級・担当教科等		ミドルリーダーとして 推進力を発揮する 学年・分掌等		シニアリーダーとして 牽引力を発揮する 学校全体		
素養	教育的愛情・使命感・責任感	・児童生徒の伸びようとする姿をとらえ、愛情をもって寄り添い、支え続け、児童生徒の成長に喜びを感じる。 ・児童生徒の未来を真剣に考えるとともに、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。						
	倫理観・人間性・行動力	・高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒の手本となるような立ち振る舞いを心がけ、児童生徒との信頼関係を築こうとする。 ・児童生徒の目標・憧れとなるような魅力的な人間像を追究する。 ・自ら行動し、粘り強く、職務に取り組もうとする。						
	自己教育力・創造的思考力	・幅広い教養と高い専門性を備えつつ、向上心を忘れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。 ・新たな問題に直面しても、柔軟に対応するとともに、常に創意工夫しながら物事に取り組んでいこうとする。						
	コミュニケーション力	・自分の考えを伝えるとともに、周囲の状況や相手の思いを踏まえ、共通理解を図りながら、協働的に行動する。						
指導力	児童生徒理解	・子どもの発達段階や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。	・児童生徒一人一人に愛情をもって接し、児童生徒との関係の中で、心情を読み取る。 ・学級・学年への帰属意識を児童生徒に育成する姿勢をもつ。 ・家庭環境などの背景も踏まえて児童生徒を理解し、個々に応じた成長を促そうとする。	・児童生徒の情報共有の場を設定することで、児童生徒を取り巻く状況を的確に捉え、児童生徒の理解を深める。 ・学級・学年などの集団をリードする児童生徒を養成する姿勢をもつ。	・さまざまな情報に基づいて児童生徒一人一人の状況や変化を的確に捉え、適切な指導方針を立て、児童生徒を理解しようとしている。 ・児童生徒が互いを尊重し、学級・学年及び学校全体をよりよくしようという意識と広い視野をもてるように促す。			
	保健教育	・学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かした指導をしようとする。	・保健教育における養護教諭の役割を理解した上で、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育をする。 ・児童生徒の主体的な学びを引き出す指導力を培うとともに、個に応じた指導を行う。 ・事前の教材研究の大切さを理解して授業に参画する。 ・他の教員から学ぶなど自分の指導を改善しようとする向上心をもつ。	・児童生徒の主体的な学びを導く指導技術に習熟している。 ・自らの指導の改善、指導力向上に努めるとともに、専門性を高め、他の教員の授業に対して適切な助言をする。 ・校内研究会・校外研修会の企画・運営に携わり、指導力やマネジメント力の向上を図る。	・高い専門性を基に、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の模範となる指導を行う。 ・学力向上や授業改善、授業評価等の視点を常にもち、学年や教科の授業改善をリードする。 ・学校全体の諸課題を把握し、校内の教育課程や授業づくりについて改善の視点で考え、組織的に実践を進める。			
	生徒指導	・生徒指導及びキャリア教育の意味を理解するとともに、個や集団を指導するための手だてを理解し、実践しようとする。	・個性の伸長、社会的資質や行動力の向上などキャリア教育の視点をもって児童生徒に対応する。 ・児童生徒一人一人の課題を捉えるとともに、保護者の思いを理解し、保護者や他の教職員と協力しながら対応する。	・学年・学校全体の児童生徒の特性や状況を的確に捉え、関係教職員や保護者と協力し、組織的・継続的に児童生徒に対応する。 ・経験の踏まえて問題提起や情報提供をしながら、経験の浅い教職員に適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携して、指導の取組方針を的確に示し、具体的に指導する。	・個性の伸長、社会的資質や行動力の向上の視点をもって、組織的な取組を促す。 ・生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、教職員に対して指導・助言をする。 ・他の教職員の抱える生活指導・進路指導上の問題に気づき、適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携を深め、問題解決のための体制づくりをする。			
	健康相談	・学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、児童生徒の発達段階における健康課題に対応しようとする。	・健康相談の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の発達の段階の課題や現代的な健康課題との関連を踏まえた、健康相談を実施する。	・心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実にも努めるとともに、学校医などの専門職や保護者と連携し、健康課題について適切な対応をする。	・心身の健康課題に関して教職員に対し、指導的役割を果たす。			
	多様性への理解と教育支援	・人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。 ・特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けている。	・個の特性や背景を把握し、適切な指導及び必要な支援を行う。 ・必要に応じて個に応じた指導の計画を作成するとともに、合理的配慮を重視した指導・支援を行う。 ・実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深める。	・児童生徒一人一人の状況や特性を踏まえた上で、関係教職員と連携し、組織的な指導や支援が行えるようにリードする。 ・児童生徒の多様性に応じるため、関係諸機関や専門機関などとの連携を推進する。	・校内委員会などで学校全体の視点で取組を見直し、組織的・継続的な指導や支援体制を構築する。 ・人権や自己の命、個々の価値観を大切にすることを教育の推進者として、経験の浅い教職員の相談や助言を行う。 ・関係諸機関や専門機関などとの連携を積極的に推進する。			
	保健室経営	・養護教諭の役割と職務内容及び、学校組織・運営や校務分掌を理解し、自分ができることを実践しようとする。	・学校教育目標を理解し、児童生徒の健康課題を捉え、保健室経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。	・分掌などの運営の中核となって、学校教育目標の実現に向けて工夫改善する。	・学校運営について創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、教育活動を活性化させる。			
マネジメント力	保健管理	・学校保健安全法を理解し、児童生徒の実態把握をし、適切な保健管理を実施しようとする。	・児童生徒の発達の段階に応じてよく見られる心身の疾患や障害を理解し、健康課題を把握し、適切に対応する。	・保健管理について指導的立場を果たすとともに、保健情報を総合的に評価し、把握した健康課題の解決に向けて、組織的に対応する。	・学校における事件・事故・災害に備えた救急体制や心のケアの支援体制を整えるなど、保健安全について学校運営に参画する。			
	学校安全・危機管理	・学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。	・児童生徒の安心安全を第一に考え、危険を予見するとともに対応する。 ・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に行う。	・安全に対する危機意識をもち、積極的に情報収集をし、課題を明らかにする。 ・学校の安全管理体制を点検し、課題解決に向けて積極的に提案、改善を行う。	・児童生徒の平常時の安全確保、事故などの未然防止、再発防止を組織的に推進する。 ・学校を取り巻く環境の危機管理について、学校、家庭、地域などと協力体制を確立する。			
	同僚との連携・協働	・社会人として良縁ある行動をし、円滑な人間関係を築こうとする。 ・保健組織活動の意義と学校保健に関する学校内の協力体制の重要性を理解しようとする。	・組織の一員として、求められている役割を理解し、同僚と協働的に物事を進めようとする。 ・他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら、自己改善をすすめる。 ・保健組織活動の意義を理解し、企画運営する。	・チームリーダーとして、教職員一人一人のよさを引き出し、それぞれの力を生かして対応できるようにリードする。 ・互いの課題や悩みに関心し、支え合える環境をつくることにも、経験の浅い教職員を積極的に支援する。 ・保健組織が主体的に活動できるよう内容の工夫、改善を図る。	・自らの経験を生かし、自校の課題に中心となって取り組み、組織全体の取組を改善する。 ・学校全体における教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。			
	地域社会との連携・折衝	・教職公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。 ・家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わろうとする。	・家庭との情報共有に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築く。 ・地域、関係諸機関と必要な連携をとったり、他の教職員の助言を受けたりしながら、適切に対応する。	・地域、関係諸機関と良好な関係を築くことにも、経験の浅い教職員を積極的に支援する。 ・他校、異校種の教職員との連携・協力を推進する。	・家庭、地域、関係諸機関へ向けての情報発信を推進する。 ・家庭、地域、関係諸機関からのニーズの情報収集に努め、協働によって教育活動を推進する。 ・近隣の学校等と連携し、地域レベルでの健康づくりを推進する。			

愛知県教員育成指標(栄養教諭版)

めざす「あいちの人間像」

【共に生きる】【自分を生かす】【学び続ける】【あいちを創る】【世界にはばたく】

愛知が求める教師像

広い教養と豊富な専門的知識・技能を備えた人

児童生徒に愛情をもち、教育に情熱と使命感をもつ人

高い倫理観をもち、円満で調和のとれた人

実行力に富み、粘り強さがある人

明るく、心身ともに健康な人

組織の一員としての自覚や協調性がある人

ステージ	第1ステージ			第2ステージ		第3ステージ
	愛知県が求める着任時の姿			ミドルリーダーとして推進力を発揮する学年・分掌等		シニアリーダーとして牽引力を発揮する学校全体
資質・能力	教職の基盤を固める 学級・担当教科等			ミドルリーダーとして推進力を発揮する 学年・分掌等		シニアリーダーとして牽引力を発揮する 学校全体
素養	教育的愛情・使命感・責任感	児童生徒の伸びようとする姿をとらえ、愛情をもって寄り添い、支え続け、児童生徒の成長に喜びを感じる。児童生徒の未来を真剣に考えるとともに、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。				
	倫理観・人間性・行動力	高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒の手本となるような立ち振る舞いを心がけ、児童生徒との信頼関係を築こうとする。児童生徒の目標・憧れとなるような魅力的な人間の姿を追求する。自ら行動し、粘り強く、職務に取り組もうとする。				
	自己教育力・創造的思考力	幅広い教養と高い専門性を備えつつ、向上心を忘れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。新たな問題に直面しても、柔軟に対応するともに、常に創意工夫しながら物事に取り組んでいこうとする。				
	コミュニケーション力	自分の考えを伝えるとともに、周囲の状況や相手の思いを踏まえ、共通理解を図りながら、協働的に行動する。				
指導力	児童生徒理解	子どもの発達段階や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。	児童生徒一人一人に愛情をもって接し、児童生徒との関係の中で、心情を汲み取る。 ・学級・学年への帰属意識を児童生徒に育成する姿勢をもつ。 ・家庭環境などの背景も踏まえて児童生徒を理解し、個々に応じた成長を促そうとする。	児童生徒の情報共有の場を設定することで、児童生徒を取り巻く状況を的確に捉え、児童生徒の理解を深める。 ・学級・学年などの集団をリードする児童生徒を養成する姿勢をもつ。	さまざまな情報に基づいて児童生徒一人一人の状況や変化を的確に捉え、適切な指導方針を立て、児童生徒を理解しようとしている。 ・児童生徒が互いを尊重し、学級・学年及び学校全体をよりよくしようという意欲と広い視野をもてるように促す。	
	食に関する指導	食育の推進における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を生かした指導をしようとしている。	児童生徒の実態や学校教育目標に基づいた食に関する指導の全体計画を提案するとともに、栄養教諭の専門性を生かし、担任などとの連携・調整を図った食に関する指導を行う。 ・児童生徒の食に関する健康課題などについて、担任などとの連携を図り、個別的な相談指導に関わる。 ・他の教員から学ぶなど自分の指導を改善しようとする向上心をもつ。	児童生徒の実態を踏まえ学習指導要領に基づいた食に関する指導内容を企画・調整し、給食献立計画と関連付けながら実施するとともにその評価を行う。 ・学校区等と連携するなど、校内の相談指導体制を整備し、児童生徒の食に関する健康課題等について適切に対応する。 ・児童生徒の発達段階や興味・関心・意欲を引き出す教材教具の工夫、学級経営や学習方針に沿った指導を展開するなど、自らの授業力の向上に努める。	食に関する指導を包括的に捉え、適切に評価・改善し、教科等横断的な視点から食に関する指導の教育課程を構成するとともに、教職員に対して適切な指導・助言を行う。 ・学校運営について創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、食に関する教育活動を推進する。 ・地域、近隣の学校(園)などとの連絡・調整を図り、市町村の食育の計画や推進に關して主体的に関わる。	
	生徒指導	生徒指導及びキャリア教育の意味を理解するとともに、個や集団を指導するための手立てを理解し、実践しようとする。	個性の伸長、社会的資質や行動力の向上などキャリア教育の視点をもって児童生徒に対応する。 ・児童生徒一人一人の課題を捉えるとともに、保護者の思いを理解し、保護者や他の教職員と協力しながら対処する。	学年・学校全体の児童生徒の特性や状況を的確に捉え、関係教職員や保護者と協力し、組織的・継続的に児童生徒に対応する。 ・経験を生かして問題提起や情報提供をしながら、経験の浅い教職員に適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携して、指導の取組方針を的確に示し、具体的に指導する。	個性の伸長、社会的資質や行動力の向上の視点をもって、組織的に取組を促す。 ・生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、教職員に対して指導・助言をする。 ・他の教職員が抱える生活指導・進路指導上の問題に気づき、適切な助言をする。 ・関係諸機関と連携を深め、問題解決のための体制づくりをする。	
	多様性への理解と教育支援	人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。 ・特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けている。	個の特性や背景を把握し、適切な指導及び必要な支援を行う。 ・必要に応じて個に応じた指導の計画を作成するとともに、合理的配慮を重視した指導・支援を行う。 ・実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深める。	児童生徒一人一人の状況や特性を踏まえた上で、関係教職員と連携し、組織的な指導や支援が行えるようにリードする。 ・児童生徒の多様性に於けるため、関係諸機関や専門機関などとの連携を推進する。	校内委員会などで学校全体の視点で取組を見直し、組織的・継続的な指導や支援体制を整える。 ・人権や他の命、個々の価値観を大切にしながら教育の推進者として、経験の浅い教職員の相談や助言を行う。 ・関係諸機関や専門機関などとの連携を積極的に推進する。	
マネジメント力	給食管理	学校給食の管理における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を生かした実践をしようとしている。	学校給食栄養摂取基準に基づいた献立を作成し、学校給食の調理、配食等について指導・助言を行う。 ・学校給食衛生管理基準を理解し、適切な衛生管理のために日常点検及び指導・助言を行う。	児童生徒の成長の特性や地域の実態などに基づいた適切な栄養管理を行うとともにその評価・改善に努める。 ・調理従事者や調理場などの衛生管理について日常的に評価・改善に努めるとともに、学級における衛生管理などを含め適切な指導・助言を行う。	給食管理を食に関する指導と一体化した視点から評価・改善し、食に関する指導に生かすための情報を全教職員に対して提供・助言する。 ・市町村の給食管理及び運営に関する中核的な役割を果たす。	
	学校安全・危機管理	学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。	児童生徒の安心安全を第一に考え、危険を予見するとともに対処する。 ・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に実行する。	安全に対する危機意識をもち、積極的に情報収集をし、課題を明らかにする。 ・学校の安全管理体制を点検し、課題解決に向けて積極的に提案、改善を行う。	児童生徒の平常時の安全確保、事故などの未然防止、再発防止を組織的に推進する。 ・学校を取り巻く環境の危機管理について、学校、家庭、地域などと協力体制を確立する。	
	同僚との連携・協働	社会人として良識ある言動をし、円滑な人間関係を築こうとする。	組織の一員として、求められている役割を理解し、同僚と協働的に物事を進めようとする。 ・他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら、自己改善をすすめる。	チームリーダーとして、教職員一人一人のよさを引き出し、それぞれの力を生かして対応できるようにリードする。 ・互いの課題や悩みに気づき、支え合える環境をつくるともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。	自らの経験を生かし、自校の課題に中心となって取り組み、組織全体の取組を改善する。 ・学校全体における教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。	
	地域社会との連携・折衝	教職公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。 ・家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わろうとする。	家庭との情報共有に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築く。 ・地域、関係諸機関と必要な連携をとったり、他の教職員の助言を受けたりしながら、適切に対処する。	地域、関係諸機関と良好な関係を築くとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。 ・他校、異校種の教職員との連携・協力を推進する。	家庭、地域、関係諸機関へ向けての情報発信を推進する。 ・家庭、地域、関係諸機関からのニーズの情報収集に努め、協働によって教育活動を推進する。 ・地域に貢献する活動を企画・調整する。	